

**施策評価（「長崎県総合計画
チャレンジ2020」の事後評価）
の結果について（概要版）**

令和3年11月

長崎県企画部政策企画課

目次

1 はじめに.....	1
2 数値目標全体の達成状況.....	2
3 基本戦略別・施策別の達成状況.....	5
4 政策横断プロジェクトの達成状況.....	11
5 地域別計画の達成状況.....	11
6 評価結果の活用及び公表等について.....	11

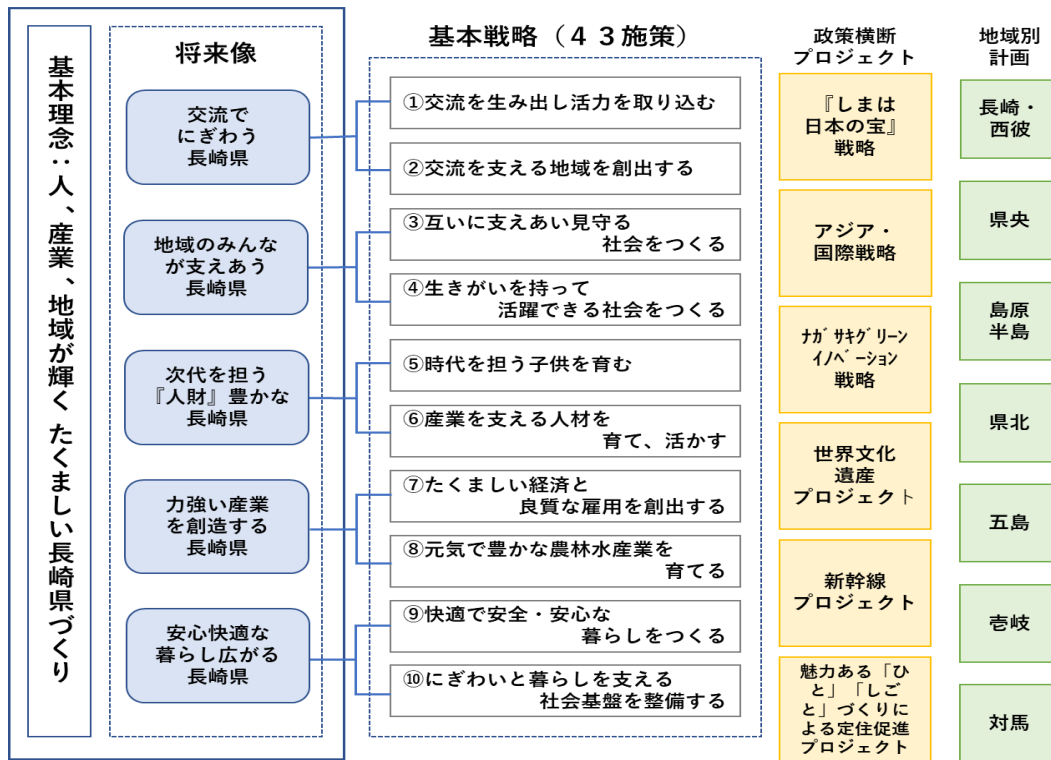
1 はじめに

本県の施策評価は、「県民の皆様に対する行政の説明責任の徹底」、「効果的かつ効率的な行政の推進」、「県民の皆様の視点に立って成果を重視した行政運営の実現」を目的として、長崎県政策評価条例に基づき、事業の成果等を検証しています。

本年度においては、県政運営の指針として平成 28 年度に開始した「長崎県総合計画チャレンジ 2020」の計画期間が令和 2 年度をもって終了したことに伴い、新たな施策の企画立案や事業の見直し等に活用するため、これまでの取組や数値目標の達成状況等を評価する施策評価（事後評価）を実施しましたので、その結果を公表します。

総合計画の体系と施策評価の対象

評価の対象は、総合計画に掲げる 10 の基本戦略を構成する 43 の施策と 6 つの政策横断プロジェクト及び 7 つの地域別計画とし、数値目標は以下のとおりです。



体系		指標	備考
将来像	5 将来像	7 指標 (重要指標)	各将来像について、県民一人ひとりが計画の成果や効果を具体的にイメージできる指標として設定されたもの
施策	43 施策	60 指標	基本理念と将来像の実現に向けて掲げる 10 の基本戦略を構成する 43 の施策ごとに設定した成果指標
事業群	178 事業群	190 指標	43 の施策を構成する 178 の事業群に設定した数値目標
政策横断プロジェクト	6 プロジェクト	9 指標	長崎県の強みを活かした長崎ならではの取組を横断的に展開するプロジェクトに掲げた数値目標
地域別計画	7 地域	23 指標	各地域のめざす姿として設定した数値目標

2 数値目標全体の達成状況

(1) 施策・事業群指標の達成状況

「施策の成果指標」、「事業群指標」をあわせた 250 項目の数値目標のうち、計画期間 5 年間を通して評価が可能な実績のなかった「国による特定複合観光施設（IR）の認定」及び「農業就業人口」の 2 指標を除いた 248 項目を、令和 2 年度実績が未反映のものは反映した時点までの実績にて事後評価を実施しました。

その結果、目標を達成したものが 102 項目（41%）、概ね達成が 50 項目（20%）、達成及び概ね達成を合わせると全体の 6 割となり、未達成は 96 項目（39%）となりました。（表 1）

【表1】施策・事業群指標の達成状況

将来像	基本戦略	数値目標数	評価可能数値目標数	達成	概ね達成	未達成
交流でにぎわう長崎県	戦略 1	39	38	14	4	20
	戦略 2			(37%)	(11%)	(53%)
地域 みんなが支えあう長崎県	戦略 3	43	43	19	9	15
	戦略 4			(44%)	(21%)	(35%)
次代を担う『人財』豊かな長崎県	戦略 5	53	53	18	11	24
	戦略 6			(34%)	(21%)	(45%)
力強い産業を創造する長崎県	戦略 7	50	49	27	12	10
	戦略 8			(55%)	(25%)	(20%)
安心快適な暮らし広がる長崎県	戦略 9	65	65	24	14	27
	戦略 10			(37%)	(22%)	(42%)
合計		250	248	102	50	96
				(41%)	(20%)	(39%)

◆「達成」 …最終目標を達成したもの(達成率 100%以上)

◆「概ね達成」…基準値を上回りかつ最終目標をほぼ達成したもの(達成率 90%以上 100%未満)

◆「未達成」 …基準値を下回ったもの^{※1}または最終目標を達成できなかったもの(達成率 90%未満)

※¹ 基準値から増加(減少)することを目標としていたが悪化したもの(100%などの現状を維持することが目標だったもの等を除く)

令和 2 年度に実施した「長崎県総合計画チャレンジ 2020 令和元年度の数値目標の進捗状況」においては、令和元年度の実績値が把握できる 187 項目の達成状況について、目標を達成・順調（達成率 100%以上）したものが 100 項目（53%）、やや遅れ（達成率 70%以上 100%未満）が 50 項目（27%）、遅れ（達成率 70%未満）が 37 項目（20%）となっていました。そのため、指標の進捗や課題を再確認し

内での意識共有を図り、最終目標の達成に向けて取組を進めたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国際情勢の影響などもあり、結果的に昨年度の達成項目 53%から、割合を増やすことには至りませんでした。

各数値目標別に見ると、観光関連の指標については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により軒並み未達成となったほか、ねんりんピック等イベントの開催延期や中止なども見られ、目標達成の大きな支障となりました。

その一方で、コロナ禍においても講座の開催方法をオンライン等へ見直すなどの対応の工夫により目標を達成した指標もありました。

今回の事後評価にあたっては、指標のうち最終年度の実績値が判明していないものについても、判明している年度の実績までの評価、また社会情勢等から判断した実績の予測値により評価を行い、「概ね達成」または「未達成」としました（実績値未反映のものを「達成」とはできないため）。

なお、令和3年度から始まった長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ 2025 においては、可能な限り翌年度までに実績把握が可能な指標を設定しています。

また、令和2年1月に国内で初めての新型コロナウイルス感染者が確認されて以降、総合計画の最終年度である令和2年度に感染が拡大したことを踏まえ、指標の実績値に対して、コロナの影響があったものを整理しました。

その結果、最終目標が未達成となった 96 指標のうち昨年度実施した数値目標の進捗状況においては、達成・順調またはやや遅れとしていたが、コロナの影響により未達成となったものが 25 指標あり、仮にコロナの影響がなければ概ね達成以上となったと仮定すると、全体の 7 割程度が達成及び概ね達成となった可能性もあることから、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなりました。（表 2）

【表2】施策・事業群指標の達成状況(新型コロナの影響)

	評価可能 数値目標数	達成	概ね達成	未達成	うちコロナの影響	
					うちコロナの 影響有指標	うちR1は 順調または やや遅れ
合計	248 ※2	102 (41%)	50 (20%)	96 (39%)	58 (23%)	25 (10%)

◆「達成」 …最終目標を達成したもの(達成率 100%以上)

◆「概ね達成」…基準値を上回りかつ最終目標をほぼ達成したもの(達成率 90%以上 100%未満)

◆「未達成」 …基準値を下回ったもの※1または最終目標を達成できなかったもの(達成率 90%未満)

※1 基準値から増加(減少)することを目標としていたが悪化したもの(100%などの現状を維持することが目標だったもの等を除く)

※2 各項目の%表示は、評価可能数値目標数 248 に対する割合。

一方で、「私立学校（小・中・高等学校）の耐震化率」や「歩道等の整備延長率」等、コロナ以外の要因で未達成となった指標もあり、それらについては個別

に要因を分析した上で、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ 2025 において、引き続き取組を推進していきます。

(2) 将来像における重要指標の達成状況

5つの将来像における「重要指標」の状況（表3）については、「県内高校生の県内就職率」は、最終目標であった65%を達成し、また「県民所得」についても平成30年度の実績^{※1}は目標を上回り1,377億円増加となったものの、その他指標については、基準値を下回る結果となりました。

その理由としては、「観光客延べ数」については、外国人観光客の増や世界遺産の登録効果などにより、平成29年から30年にかけて2年連続で過去最高を記録するなど一定の事業効果は見られたものの、令和2年においては新型コロナウイルス感染症の感染拡大により目標達成には至らなかったほか、「地域内で支えあいを実施できていると感じている人の割合」及び「社会活動に参加している人の割合」については、地域のつながりの希薄化が進んだことに加え、コロナによる行動制限等も影響したことが要因となり達成に至らなかったと考えられます。

これまでの取組をさらに進化させ、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025においても、事業推進のため取り組んでいきます。

【表3】重要指標の達成状況

将来像	重要指標	基準値	最終目標	R2実績値
交流でにぎわう長崎県	観光客延べ数	3,375万人 (H26年)	3,993万人 (R2年)	1,901万人
地域みんなが支えあう長崎県	地域内で支えあいを実施できていると感じている人の割合	65.0% (H27年度)	75.0% (R2年度)	62.1%
	社会活動に参加している人の割合	27.7% (H27年度)	40.0% (R2年度)	18.3%
次代を担う『人財』豊かな長崎県	県内大学生の県内就職率	44.9% (H26年度)	55.0% (R2年度)	40.8%
	県内高校生の県内就職率	57.7% (H26年度)	65.0% (R2年度)	69.9% (速報値)
力強い産業を創造する長崎県	県民所得	—	R2年度までの5年間で総額を1,028億円増加	1,377億円増加 (H30)
安心快適な暮らし広がる長崎県	安心快適指標	全国6位 (H27年度)	全国1位 (R2年度)	19位 ^{※2}

※1 令和2年度の県民経済計算が判明するのは令和5年であるため、直近の平成30年度実績を記載。

※2 安心快適指標については、設定当初にはあったがその後調査がなくなった国調査項目を除いた項目により順位を算出。

3 基本戦略別・施策別の達成状況

施策の達成状況の区分は、施策毎に設定した「成果指標」の達成状況により評価しています。43の施策のうち、目標を「達成」したものが全体の約4割の16施策、「概ね達成」までを合わせると25施策、全体の6割弱となり、コロナ禍において一定の成果を収めたものと考えています。

また、「達成」となった施策でも、その内訳の事業群指標においては、「未達成」である指標を含むものもありました。

施策の達成状況「未達成」となった戦略2施策1『時機を捉えた魅力あるまちなみの整備』においては、設定していた成果指標及び事業群指標を合わせた全4指標が「未達成」となっており、魅力あるまちなみ整備や景観形成に関する取組を今後も継続して実施していく必要があります。

なお、施策の達成状況の判定基準となる「成果指標」も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響があった指標が数多くありました。

<p>◆ 施策の進捗状況の評価方法 総合計画に掲げる43の施策毎に1～3項目設定された「施策の成果指標」の目標値に対する達成状況により判定。</p>	
<p>《例1》戦略1「交流を生み出し活力を取り込む」 施策1「2つの世界遺産を活用した観光地づくりと誘客拡大」の場合</p>	
<p>成果指標①「観光客延べ数」…未達成 ②「観光消費額(総額)」…未達成</p>	<p>➡ 施策の評価「未達成」</p>
<p>《例2》戦略2「交流を支える地域を創出する」 施策3「移住施策の強化」の場合</p>	
<p>成果指標①「本県への移住者数」…達成</p>	<p>➡ 施策の評価「達成」</p>
<p>《例3》戦略4「生きがいを持って活躍できる社会をつくる」 施策1「いつまでも健康で活躍できる社会の実現」の場合</p>	
<p>成果指標①「健康状態の管理や生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合」…未達成 ②「ながさき県民大学(主催講座)における受講者の満足度」…達成</p>	<p>➡ 施策の評価「概ね達成」</p>

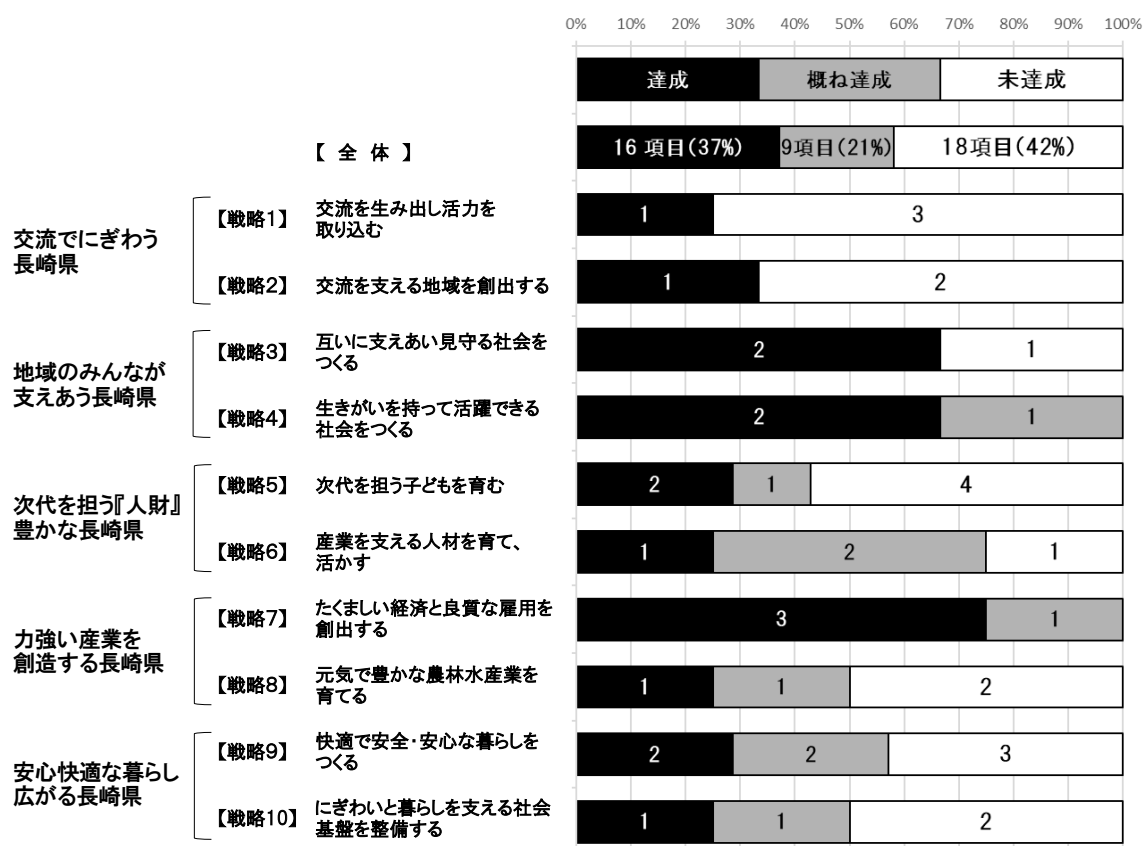
【表3】施策別の達成状況

将来像	戦略	施策名	達成状況	
交流でにぎわう長崎県	戦略1	施策1	2つの世界遺産等を活用した観光地づくりと誘客拡大	未達成
		施策2	本県ならではのソフトパワーの活用・発信	達成
		施策3	海外活力の取り込み	未達成
		施策4	新幹線開業に向けた戦略的取組の推進	未達成
	戦略2	施策1	時機を捉えた魅力あるまちなみの整備	未達成
		施策2	文化・スポーツによる地域活性化	未達成
施策3		移住施策の強化	達成	
地域みんなが支えあう長崎県	戦略3	施策1	必要なときに必要な医療・介護・福祉サービスが受けられる体制の整備	達成
		施策2	誰もが安心して暮らし、社会参加のできる地域づくり	達成
		施策3	きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援	未達成
	戦略4	施策1	いつまでも健康で活躍できる社会の実現	概ね達成
		施策2	女性の活躍推進	達成
		施策3	多様な主体が支えあう地域づくりの推進	達成
次代を担う『人財』豊かな長崎県	戦略5	施策1	結婚・妊娠・出産・子育ての一貫した切れ目ない支援	未達成
		施策2	安心して子育てできる環境づくり	概ね達成
		施策3	学力の向上と個性を活かした教育の推進	達成
		施策4	我が国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成	未達成
		施策5	グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり	未達成
		施策6	子どもたちが安心して学べる教育環境の整備	達成
		施策7	「地域みんなで子どもを育み、家庭教育を支援する」体制づくり	未達成
	戦略6	施策1	キャリア教育の推進と企業人材の育成	達成
		施策2	地域に密着した産業の担い手の確保・育成	概ね達成
		施策3	医療・介護・福祉人材の育成・確保	概ね達成
		施策4	大学と連携した県内学生の人材育成と地元定着	未達成
力強い産業を創造する長崎県	戦略7	施策1	新産業の創出と新たな成長分野への参入	達成
		施策2	地域経済を支える産業の強化	概ね達成
		施策3	戦略的、効果的な企業誘致の推進	達成
		施策4	就業支援と良質な職場環境づくり	達成
	戦略8	施策1	水産業の収益性向上に向けた取組の強化	概ね達成
		施策2	活力にあふれる浜・地域づくりと漁場・漁村の整備	未達成
		施策3	農林業の収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化	達成
		施策4	地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり	未達成
安心快適な暮らし広がる長崎県	戦略9	施策1	しまや過疎地域等の活性化と持続可能な社会の基盤づくり	未達成
		施策2	犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進	達成
		施策3	食品の安全・安心の確保と安全・安心な消費生活の実現	概ね達成
		施策4	災害に強く、命を守る県土強靱化の推進	未達成
		施策5	良好で快適な環境づくりの推進	概ね達成
		施策6	低炭素・循環型社会づくりの推進	未達成
		施策7	人と自然が共生する地域づくり	達成
	戦略10	施策1	九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立	概ね達成
		施策2	離島・半島等のくらしと交流を支える地域公共交通の確保	未達成
		施策3	インフラの長寿命化の推進	達成
		施策4	ながさき ICT 戦略の推進	未達成
合計	43 施策	達成:16 概ね達成:9 未達成:18		

将来像の実現に向けて掲げる 10 の基本戦略別の達成状況（図 1）を、施策の達成割合でみると、戦略 4「生きがいを持って活躍できる社会をつくる」及び戦略 7「たくましい経済と良質な雇用を創出する」の 2 戦略については、「達成」が過半数で「未達成」は 0 となっており、一定の成果をあげたといえます。

一方で、戦略 1「交流を生み出し活力を取り込む」及び戦略 2「交流を支える地域を創出する」の 2 戦略については、「未達成」が過半数となりました。

（図1）施策の基本戦略別の達成状況

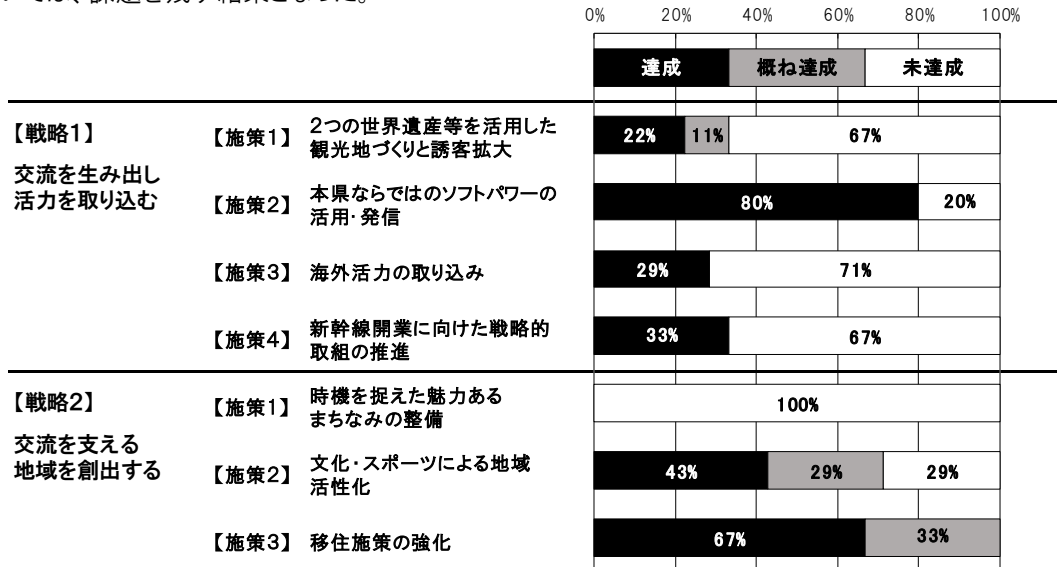


(図2)戦略別・施策別の達成状況

【1 交流でにぎわう長崎県】

○戦略1は、施策1「2つの世界遺産等を活用した観光地づくりと誘客拡大」等の指標が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くが未達成となった。

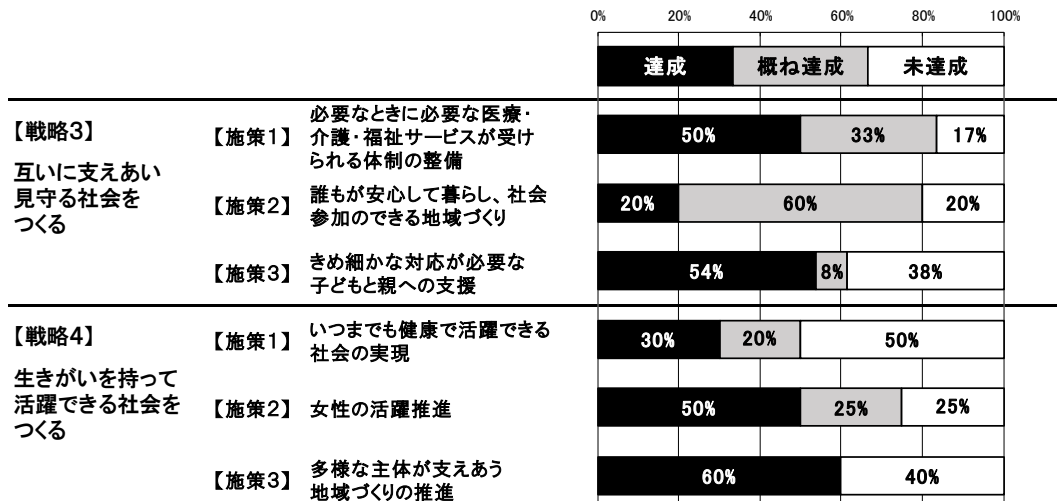
○戦略2は、全体としては概ね成果をあげた指標が多いが、施策1「時機を捉えた魅力あるまちなみの整備」については、課題を残す結果となった。



【2 地域のみんなが支えあう長崎県】

○戦略3は、施策2「誰もが安心して暮らし、社会参加のできる地域づくり」について、達成指標が少なかったものの、戦略全体として概ね達成までを含めると、一定の成果が得られた。

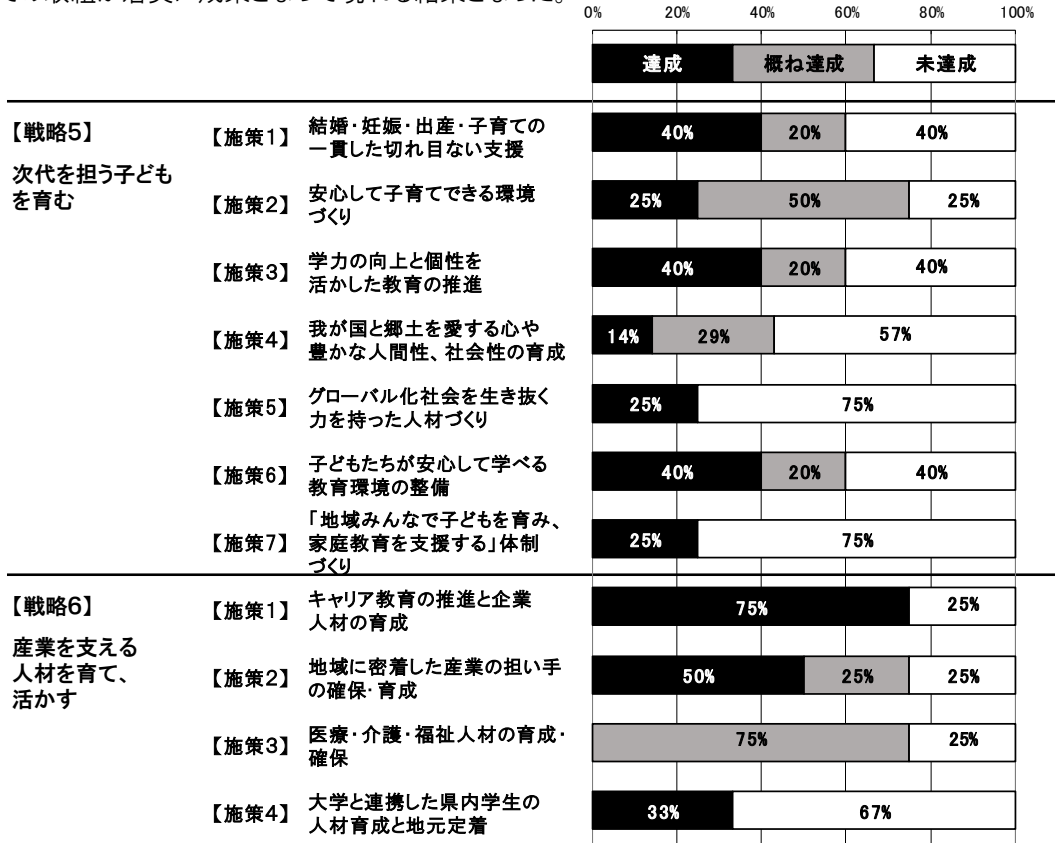
○戦略4は、施策1「いつまでも健康で活躍できる社会の実現」等の指標に未達成の指標が多くなった。



【3 次代を担う『人財』豊かな長崎県】

○戦略5は、達成の指標が最も少なくなった。特に施策5「グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり」等の指標で目標達成できていない指標が多い。

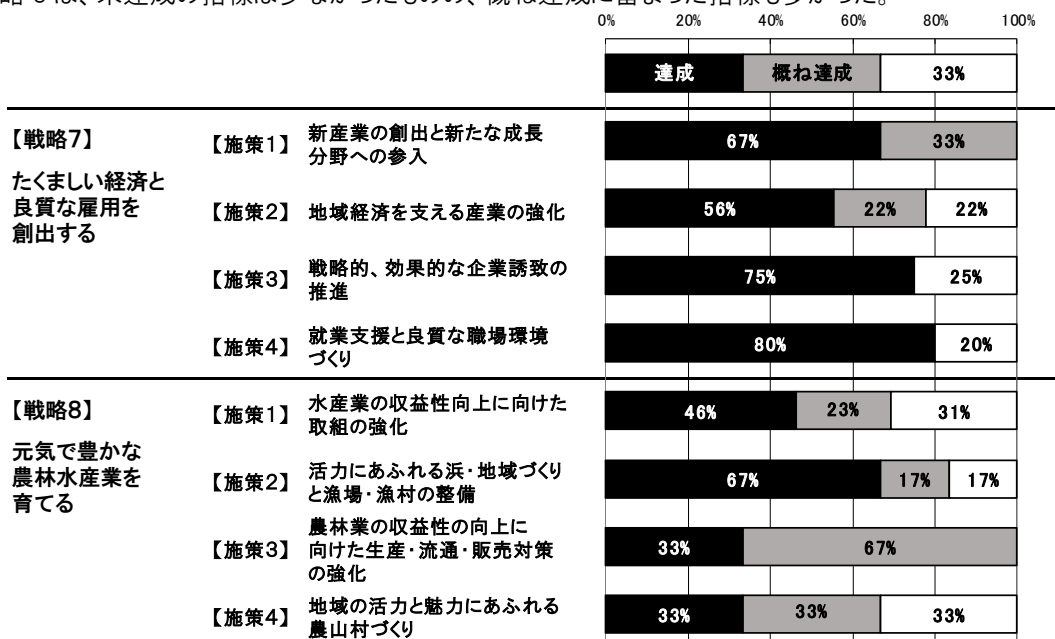
○戦略6の施策1「キャリア教育の推進と企業人材の育成」については、「県内高校生の県内就職率」等これまでの取組が着実に成果となって現れる結果となった。



【4 力強い産業を創造する長崎県】

○戦略7は、達成の指標が一番多く6割以上となった。特に、施策4「就業支援と良質な職場環境づくり」については、1指標を除いてすべて達成となった。

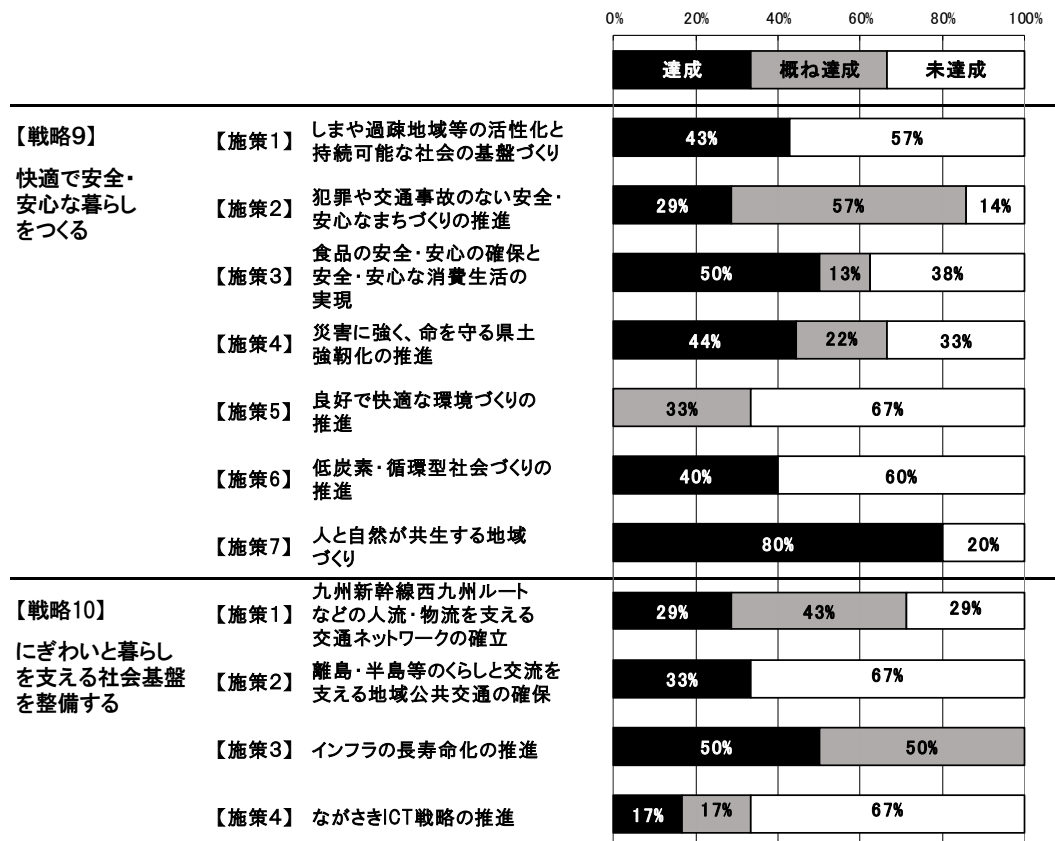
○戦略8は、未達成の指標は少なかったものの、概ね達成に留まった指標も多かった。



【5 安心快適な暮らし広がる長崎県】

○戦略9は、施策7「人と自然が共生する地域づくり」が8割の指標が達成となったものの、施策5や施策6は過半数の指標が未達成となった。

○戦略10 施策4「ながさきICT戦略の推進」については、未達成の指標が多く、Society5.0の実現に向けて、今後も更なる取組の推進が必要である。



4 政策横断プロジェクトの達成状況

部局横断的に取り組む6つの政策横断プロジェクトに掲げる数値目標の達成状況については、プロジェクト毎に設定した数値目標の達成状況等を基に総合的に評価しています。

内容については、別添の施策評価調書（全体版）のP.148 政策横断プロジェクトの調書のとおりです。

5 地域別計画の達成状況

県内各地域の特色ある地域資源や特性を活かした個性的な地域づくりを進め、地域活性化を図るため、県内7つの地域毎に、地域の特徴的な取組の方向性を示す7つの地域別計画を策定しています。その地域別計画の各地域のめざす姿として設定した数値目標の達成状況は、別添の施策評価調書（全体版）のP.154 地域別計画の調書のとおりです。

6 評価結果の活用及び公表等について

評価結果については、施策の重点化や見直し、新たな施策の企画立案等に反映させていきます。

総合計画に掲げた各事業群の数値目標の達成状況の詳細な要因分析や、今後の取組方針の検討等は、毎年度実施する「事業群評価」において公表しています。

また、令和3年度から開始した「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」については、新型コロナウイルス感染症を踏まえた施策を既に盛り込んでおりますが、コロナ収束後の状況により、計画中間年に実施する施策評価の中間評価において、社会情勢等の変化により見直しが必要な数値目標の修正を検討する予定としております。

評価結果は、県民センター（本庁）及び行政資料コーナー（長崎を除く各振興局）に備え付けるほか、県のホームページにも掲載しています。